

平成
30年度

わかりやすい 瑞穂市の予算

瑞穂市の平成30年度の予算のあらましと
主な事業について紹介します



瑞穂市マスコットキャラクター
「かきりん」

MIZUHO 15th
ANNIVERSARY

わかりやすい 平成30年度瑞穂市の予算について

瑞穂市では、これから目指す市の将来像を「誰もが未来を描けるまち 瑞穂」と掲げ、子どもや若い世代、地域や産業を育成する「育」、生活の基本となる良好な住環境の維持や向上を図る「住」、誰もが安全で安心な暮らしを守っていく「安」、まちの資源や人を活かす「活」の4つの基本視点から魅力ある活力あるまちづくりを進めています。

今年も、瑞穂市まちづくり基本条例に基づき、積極的に市民の皆様へ情報を提供及び共有することを目的として、平成30年度に取り組む主要事業や新規事業などを掲載した「わかりやすい平成30年度瑞穂市の予算」を作成しました。

目次

◆ 予算概要

- ・ 予算規模について…………… 2
- ・ 歳入（収入）について…………… 3
- ・ 歳出（支出）について…………… 4
- ・ 税金、市民1人当たりの予算について…………… 5

◆ 主な事業

- ・ 総合戦略事業（地方創生事業）…………… 6
- ・ 広報みずほアプリケーション配信業務事業…………… 7
- ・ 自治会活動支援事業…………… 7
- ・ 防災無線管理事業…………… 8
- ・ 消防施設管理事業…………… 8
- ・ 庁舎建設基金積立事業…………… 9
- ・ 公共施設等総合管理計画策定事業…………… 9
- ・ 国民健康保険事業…………… 10
- ・ 福祉医療費助成事業…………… 11
- ・ 瑞穂処理区下水道事業施設整備事業…………… 11
- ・ 可燃ごみ処理事業
（西濃環境整備組合負担金）…………… 12
- ・ 簡易水道事業統合事業…………… 12
- ・ 子どもの生活・学習支援事業
（居場所づくり）…………… 13
- ・ 骨髄移植ドナー等助成事業…………… 13
- ・ 地域包括ケアシステムの構築関連事業…………… 14
- ・ 高齢者交通費助成事業…………… 14
- ・ 軽度認知障がい（MCI）予防プログラム
実施事業…………… 14
- ・ 西部環状道路整備事業（第2期計画区間）…………… 15
- ・ 牛牧排水機場改修事業…………… 15
- ・ 社会資本整備総合交付金
（防災・安全）事業…………… 16
- ・ 社会資本整備総合交付金
（公営住宅ストック総合改善）事業…………… 16
- ・ 中山道整備事業…………… 17
- ・ 土地改良施設維持管理事業…………… 17
- ・ 穂積中学校テニスコート整備事業…………… 18
- ・ ほづみ幼稚園造形室及び園舎外壁等
改修事業…………… 18
- ・ 小中学校ICT教育推進事業…………… 19
- ・ 学校運営協議会関連事業…………… 19
- ・ 保育所運営事業…………… 20
- ・ 生涯学習自主事業…………… 20
- ・ トップアスリート育成支援事業…………… 21
- ・ 生涯学習施設改修等事業…………… 21

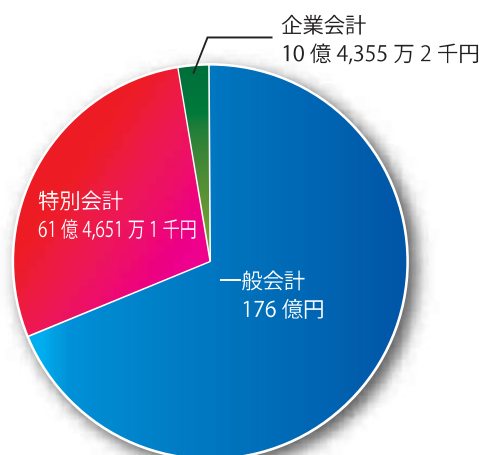
平成30年度の瑞穂市の予算規模は？

一般会計・特別会計・公営企業会計の予算を合わせると、
247億9,006万3千円です。

一般会計 福祉、医療、子育て、教育、道路や公園の整備など、市民の暮らしや、まちづくりに必要な基本的な行政サービスを行う会計です。市税収入は、主にこの一般会計で使われています。

特別会計 保険料などの特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。国民健康保険事業など5つの会計があります。

企業会計 民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。水道事業の会計があります。



各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

区分	平成30年度予算額	前年比(増減額)	事業内容	
一般会計	176億円	9億円		
特別会計	国民健康保険事業	49億2,051万5千円	△9億7,898万8千円	瑞穂市の国民健康保険に加入している方の医療費を給付
	後期高齢者医療事業	5億1,874万4千円	5,195万9千円	75歳以上の方の医療費を給付
	学校給食事業	3億655万3千円	47万円	小中学校等に給食を提供
	下水道事業	3億7,427万6千円	816万円	雨水・汚水管の整備及び維持管理
	農業集落排水事業	2,642万3千円	△10万2千円	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を目的に整備した排水処理施設の管理
企業会計	水道事業	10億4,355万2千円	2億2,092万9千円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理

一般会計は、増えているの？

平成30年度予算は、第2次総合計画の基本計画に掲げた5つの基本目標及び共通目標を実現するため、牛牧排水機場整備事業や穂積中学校テニスコート整備事業の大型事業、庁舎建設基金への積み立てなどの要因により、前年度より**9億円増額**となりました。

歳入(収入)



一般会計には、どのような歳入があるの？

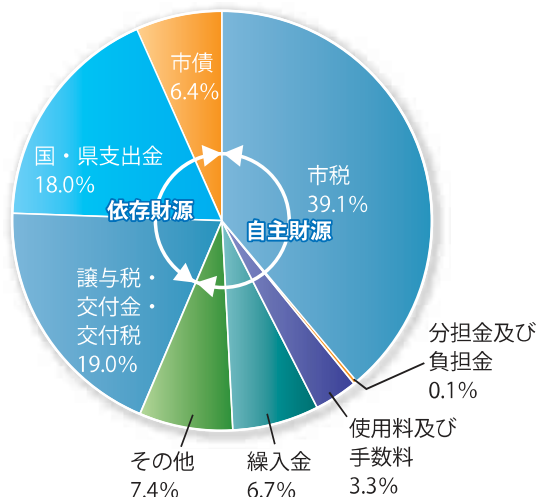
一般会計の歳入には、市税や国及び県からの補助金、金融機関等からの借入れや施設の使用料などがあります。

ここがポイント

約6割が自主財源です。自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。

自主財源の大部分は市税です。

今年度、自主財源は増加しましたが、これは、市税の増収とふるさと応援寄附金の増額を見込んだためです。



■一般会計歳入予算

区分	事業内容	平成30年度予算額	前年比(増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	99億7,006万2千円	5億5,785万9千円
市税	市民の皆様や市内に事務所を持つ法人に納めていただくものです。	68億7,837万2千円	5,847万5千円
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受けるものから、その受益を限度として賦課徴収するものです。	2,071万1千円	△968万5千円
使用料及び手数料	市の施設の利用や事務により利益を受けるものから、条例の定めにより、その受益に対する実費負担的な金額をいただくものです。	5億8,125万円	△144万4千円
繰入金	一般会計、特別会計及び基金の間における現金を移動することです。	11億8,600万1千円	3億600万円
その他	寄附金、ふるさと納税、不動産売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	13億372万8千円	2億451万3千円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債(借金)のことです。	76億2,993万8千円	3億4,214万1千円
譲与税・交付金・交付税	皆様为国に納めた税金の一部で、一定の基準により市に交付されます。	33億2,500万円	3,500万円
国・県支出金	皆様为国及び県に納めた税金の一部です。市の行う事業の全部又は一部に交付されます。	31億8,293万8千円	8,124万1千円
市債	市が行う事業で、特に大きな事業を実施する場合に必要な財源を調達するために借り入れる借金です。	11億2,200万円	2億2,590万円
計		176億円	9億円



※6ページ以降の各事業の財源について、上記の分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、その他の合計を「その他」として表記しています。

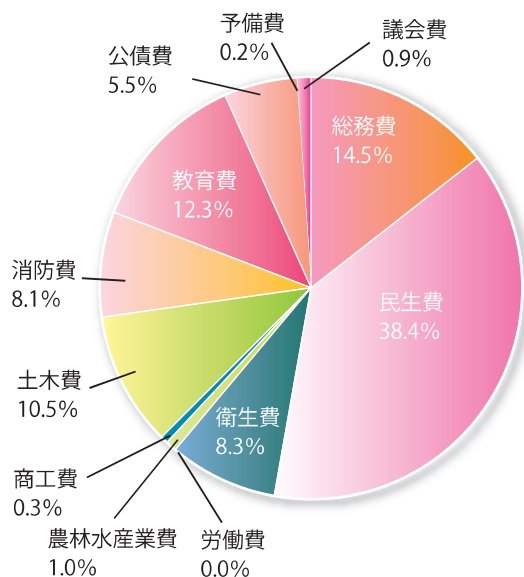
歳出（支出）

Question どのような分野（目的）の歳出があるの？

民生、総務、教育などの分野に分けて支出します。

ここがポイント

民生費と教育費で約5割を占めています。
今年度も扶助費の増加により民生費が増加しています。
教育費は、小学校へのICT機器の購入費用及び穂積中学校テニスコート整備事業を計上して前年度に比べて大幅に増額となっています。



■一般会計歳出予算（目的別）

項目	事業内容	金額	前年度比（増減額）
議会費	議会運営のための経費です。	1億6,431万2千円	29万7千円
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計等の経費です。	25億4,598万2千円	6億8,880万6千円
民生費	障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護等の経費です。	67億5,657万2千円	1億9,315万円
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費等の経費です。	14億6,404万6千円	218万7千円
労働費	勤労者などの支援費等の経費です。	508万4千円	増減なし
農林水産業費	農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備等の経費です。	1億6,687万5千円	847万2千円
商工費	商工業や観光の振興等の経費です。	5,944万5千円	598万9千円
土木費	道路、河川、公園など社会資本基盤整備等の経費です。	18億4,533万2千円	△499万1千円
消防費	消防や火災予防、水防など災害対策のための経費です。	14億2,099万4千円	△902万5千円
教育費	学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興等の経費です。	21億6,799万4千円	3億6,032万5千円
公債費	市債の元利償還金及び一時借入金利子を支払うための経費です。	9億7,336万4千円	△3億4,521万円
予備費	予算編成の際、予期しなかった予算外の支出に対応するための科目です。	3,000万円	増減なし
計		176億円	9億円

瑞穂市に入る税収は、何種類あるの？

項目	内容	平成30年度予算	前年比（増減額）
市民税（個人）	個人の前年度中の所得等に応じて納める税金です。	28億6,000万円	5,290万円
市民税（法人）	市内の法人の所得等に応じて納める税金です。	4億30万円	4,690万2千円
固定資産税	市内に土地、家屋、償却資産を持っている方が納める税金です。	31億7,529万6千円	△4,767万円
軽自動車税	市内に原動機付自転車、軽自動車などを持っている方が納める税金です。	1億2,441万3千円	1,175万7千円
市たばこ税	たばこを買った方が負担している税金です。	3億1,836万3千円	△541万4千円
計		68億7,837万2千円	5,847万5千円

市民1人当たり、いくら使われているの？

市民1人当たり、約32万円になります。（平成30年2月28日現在の人口：54,256人）

■一般会計歳入予算

項目	金額（円）
市税	126,776

ここがポイント

瑞穂市に納めた税金約13万円に、国及び県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約32万円の事業が行われます。



■一般会計歳出予算（目的別）

項目	金額（円）
議会費	3,028
総務費	46,925
民生費	124,531
衛生費	26,984
労働費	94
農林水産業費	3,076
商工費	1,096
土木費	34,012
消防費	26,191
教育費	39,959
公債費	17,940
予備費	553
計	324,388

事業

総合戦略事業（地方創生事業）

担当課

企画部
総合政策課
他5課

予算額

H30年度 7,628万1千円
(H29年度からの繰越額1,889万円)
H29年度 6,930万円

財源

国県市 1,029万円
その他 870万円
4,287万1千円
1,442万円

市制15周年記念事業を行います！

◆平成30年度主な実施内容

市制15周年の節目の年を迎えるに当たり、これまでの瑞穂市を振り返り、更なる発展に取り組むため「笑顔がみずほを元気にする」をテーマとした魅力ある事業を展開します。

■市制15周年事業（地域活性化事業）

- ・若者支援・多世代交流事業の実施
- ・婚活事業の実施
- ・瑞穂市プロモーション事業の実施

■地域ブランド戦略推進事業

地域ブランドや新開発商品のプロモーション

■瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業の推進

- ・圏域の拠点にふさわしい将来像の構築
- ・駅周辺の施設等の活用による賑わい創出
- ・駅周辺の道路・交通環境改善のための社会実験等の検討・実施
- ・駅周辺の魅力やにぎやかさアップの促進

まちづくり計画図（素案）



※まちづくり計画図（素案）は決定したものではありません。
今後地域の意見等を反映させ、修正してまいります。

他課の総合戦略事業

- ・市民協働安全課（消防団PR事業）
- ・地域福祉高齢課（介護人材育成促進事業）
- ・健康推進課（健康診査、予防接種）
- ・商工農政観光課（商工業振興、観光振興）
- ・幼児支援課（潜在保育士就業促進事業、幼児運動教室）



第3回ほづみ夜市の様子



魅力マップ「ほづみによってみい」づくりの様子

新規

事業

広報みずほアプリケーション配信業務事業

担当課

企画部
総合政策課

予算額

H30年度 62万2千円

財源

市 62万円2千円

いつでもどこでも「広報みずほ」

◆こんなかたがたに向けて広報みずほを配信します。

- ・全国の瑞穂市出身のかたに！
- ・外国籍居住者のかたに！
- ・目や耳の不自由なかたに！



こんな機能がついてます

- 多言語翻訳機能 (英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語)
- 音声読み上げ機能
- 拡大機能
- テキストポップアップ機能
- 毎月1日に自動配信

無料でダウンロードできます。



Catalog Pocket

アプリ版



PCブラウザ版

<http://www.catapoke.com>

事業

自治会活動支援事業

担当課

企画部
市民協働安全課

予算額

H30年度 3,864万9千円
H29年度 4,303万6千円

財源

市 3,864万9千円

小学校区自治会連合会の設立と活動を支援します

地域の諸問題（防災、福祉、防犯、交通安全等）を市と協働しながら地域で解決できるコミュニティを目指し、市内小学校区全てに自治会連合会の設立と市と自治会の連携による自治会の加入促進を実施していきます。



事業 防災無線管理事業

担当課 企画部
市民協働安全課

予算額 H30年度 4,651万8千円
H29年度 4,936万3千円

財源 市債 3,500万円
市 1,151万8千円

防災行政無線のデジタル化を推進します

音声をより聞きやすくし、無線の多機能化を図るため、防災行政無線のデジタル化を推進します。平成30年度は、中小学区内の子局（5局）のデジタル化を実施します。平成35年度までに市内全域のデジタル化を完了する予定となっています。



防災行政無線の子局

事業 消防施設管理事業

担当課 企画部
市民協働安全課

予算額 H30年度 6,231万3千円
H29年度 3,318万1千円

財源 市債 1,200万円
市 5,031万3千円

地域の消防力の強化を図ります

消防団に配備されている消防ポンプ車、小型動力ポンプで、老朽化し消火活動に支障がでる恐れのあるものを更新します。平成30年度は、ポンプ車1台、小型動力ポンプ1台を更新する予定です。これにより、地域の消防力の強化、消防団の待遇改善、消火作業の効率化を実現します。



事業

庁舎建設基金積立事業

担当課

総務部
財務情報課

予算額

H30年度 2億円
H29年度 1億円

財源

市 2億円

新庁舎建設のための 基金を積み立てます

新庁舎の建設事業費に充てるための財源として、「瑞穂市庁舎建設基金」の積み立てを行います。平成29年度から約15年に渡って、30億円程度の積み立てを行う計画としています。

【瑞穂市庁舎将来構想（抜粋）】

毎年2億円を積み立てるとともに、事業開始時に不足する財源は一般財源を数億円、地方債数億円を投資する財政計画としています。



外壁の劣化等、老朽化が目立ちます

事業

公共施設等総合管理計画策定事業

担当課

総務部
財務情報課

予算額

H30年度 607万円
H29年度 450万円

財源

市 607万円

公共施設等に関する計画を策定します

公共施設等の維持管理には多額の費用が必要となりますので、予防保全（長寿命化）や、施設総量の適正化を検討する必要があります。市民サービスを維持しつつ、将来的な財政負担を軽減するための計画を策定する事業です。

◆平成30年度実施内容

- 瑞穂市の保有する公共施設等の現状と今後の方針について、説明会を開催します。
- 新庁舎建設検討プロジェクトチームにおいて、瑞穂市新庁舎基本構想（素案）策定に向けた検討を進めます。



事業

国民健康保険事業

担当課

市民部
医療保険課

予算額

H30年度 49億2,051万5千円
H29年度 58億9,950万3千円

財源

県 33億2,151万2千円
市 5億3,630万7千円
その他 10億6,269万6千円

瑞穂市国民健康保険加入者を対象に療養の給付、療養費、高額療養費、高額介護合算療養費、出産育児一時金、葬祭費等の保険給付事業、特定健康診査・特定保健指導を行うとともに、国民健康保険税の徴収事務を行っています。

H30.1月末世帯数 6,448、被保険者数 10,841 人、H28 年度特定健診受診率 46.0%（法定報告値）

年度	事業内容		事業費			国民健康保険事業特別会計財源内訳（千円）				
						国・県	市債	基金	その他	一般財源
28	実績	保険税の賦課徴収、給付、保健事業、資格管理等	決算	5,432,463	千円	1,333,818			2,489,455	1,609,190
29	計画	保険税の賦課徴収、給付、保健事業、資格管理等	決算見込	5,757,789	千円	1,202,272			2,419,069	2,136,448
30	計画	保険税の賦課徴収、給付、保健事業、資格管理等	概算	4,920,515	千円	3,321,512			1,062,696	536,307

◆県単位化（平成30年度から制度改革）

平成30年度から国民健康保険事業は県が財政運営の主体となるよう次の表のとおり改革されます。

改革の方向性		
1. 運営のあり方 (総論)	都道府県が、当該都道府県内の市町村とともに、国保の運営を担う 都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化 都道府県が、都道府県内の統一的な運営方針としての国保運営方針を示し、市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化を推進	
	都道府県の主な役割	市町村の主な役割
2. 財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営の責任主体 ・市町村ごとの国保事業費納付金を決定 ・財政安定化基金の設置・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保事業費納付金を都道府県に納付
3. 資格管理	<ul style="list-style-type: none"> ・国保運営方針に基づき、事務の効率化、標準化、広域化を推進 ※ 4. と 5. も同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と身近な関係の中、資格を管理（被保険者証等の発行）
4. 保険料（税）の決定賦課・徴収	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な算定方法等により、市町村ごとの標準保険料率を算定・公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準保険料率等を参考に保険料（税）率を決定 ・個々の事情に応じた賦課・徴収
5. 保険給付	<ul style="list-style-type: none"> ・給付に必要な費用を、全額、市町村に対して支払い ・市町村が行った保険給付の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・保険給付の決定 ・個々の事情に応じた窓口負担減免等
6. 保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村に対し、必要な助言・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の特性に応じたきめ細かい保健事業を実施（データヘルス事業等）

事業 福祉医療費助成事業

担当課 市民部
医療保険課

予算額 H30年度 6億6,826万6千円
H29年度 6億9,132万4千円

財源 県市 1億8,307万5千円
4億2,416万円
その他 6,103万1千円

乳幼児等、重度心身障害者（児）、母子（父子）家庭等のひとり親と子に対し、保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費助成制度を実施しています。

制度	対象者
乳幼児等	18歳到達の年度末まで（平成28年10月から実施）
重度心身障害者	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1～3級 療育手帳A1、A2、B1 精神障害者保健福祉手帳1,2級等をお持ちの方
母子家庭等	母子家庭等の母と子（子が18歳到達の年度末まで）
父子家庭	父子家庭の父と子（子が18歳到達の年度末まで）

上記のいずれかに該当するかたには福祉医療受給者証が交付され、これを県内の病院の窓口で保険証と一緒に提示すると保険診療対象分の医療費が無料になります。県外で受診された場合も、一旦は窓口負担分をお支払いいただく必要がありますが、領収書等をお持ちいただくことで保険診療対象分の償還ができます。

事業 瑞穂処理区下水道事業施設整備事業

担当課 環境水道部
下水道課

予算額 H30年度 1億6,740万円
H29年度 1億6,740万円

財源 国 8,000万円
市債 7,900万円
市 840万円

瑞穂市の下水道普及率は県内の市町村と比べ低い水準にあり、市内の河川や水路は生活排水等により汚濁しています。

この公共下水道事業は、瑞穂市第2次総合計画でも重点施策と位置づけられています。

都市計画法でも「市街化区域においては、少なくとも下水道を定めるもの」となっており、瑞穂市の将来を見据え、取り組まなければいけない事業です。

瑞穂市公共下水道は平成27年4月に岐阜都市計画に定められ、第1期の下水道事業計画を策定したのち、下水道施設整備を進めます。

◆平成30年度実施内容

- ・幹線管渠きよ詳細設計業務委託
- ・管渠の地質調査業務委託

